

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立社会福祉センター
施設所管課・担当	福祉局総務部経理・企画課（管財担当）
条例上の設置目的	社会福祉事業の進展を図るとともに、広く市民の福祉の増進に寄与
業務の概要	社会福祉団体との連絡調整及び活動の助成、社会福祉事業に関する情報の収集及び提供
成果指標	貸会議室利用状況
数値目標	貸会議室利用状況（利用率80%、増加回数 1,592回、総利用回数 4,922回） 増加回数は、令和4年度の利用数（3,330回）との比較により算出。
指定管理者名	まちすまいづくり・東洋テックビルサービス連合体
指定期間	令和4年4月1日から令和 6 年3月31日(連合体の構成員である共同総合サービスの吸収合併により、令和4年3月31日をもって連合体消滅のため当初の指定期間から変更あり。)
評価対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸会議室利用状況
数値目標	利用率80% 増加回数1,592回 総利用回数4,922回
年度実績	利用率65.6%
達成率	82.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	45,449	30,389	15,060
稼働率	65.6%	66.9%	-1.3%

3 収支状況(税抜)

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	36,322,727	36,129,617	0	
	計画	36,322,727	35,067,148		
利用料金収入	実績	4,998,150	3,709,150	-1,850	
	計画	5,000,000	4,500,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	41,320,877	39,838,767	-1,850	
	計画	41,322,727	39,567,148		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	14,491,630	12,883,209	1,491,630	○＋1,491千円(最低賃金増、賃金増に伴う保険料の増、改修工事に伴う業者対応や館内清掃従事者増、時間外対応)
	計画	13,000,000	12,100,000		
物件費	実績	22,223,513	23,246,408	-1,099,214	○光熱水費：▲1,608千円(電力会社との個別契約や徹底した節電による減) ○日常清掃費：＋643千円 ○事務費：▲57千円（一括購入による減）
	計画	23,322,727	22,967,148		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	36,715,143	36,129,617	392,416	
	計画	36,322,727	35,067,148		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸会議室利用状況 (利用率80% 増加回数1,592回 総利用回数4,922回)	82%	C	令和4度まで行われていた改修工事に伴う使用停止・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用制限が解除され、通年利用が可能となったが、令和5年度の利用率は65.6%と低迷している。しかし、使用料収入については、令和4年度の使用料収入を上回っており、本市財政に寄与している。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・光熱水費 R5年実績：▲1,608千円 ・事務費 R5年実績：▲57千円	S	光熱水費や物価高騰が続く中、個別契約や照明・冷暖房設備等の効率的運用により光熱水費を抑制及び一括購入等により事務費の削減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	A	○日常・定期（法定含む）・総合点検を有資格者である組織構成職員を活用することにより迅速かつ適切に実施を行った。 ○電力契約の工夫により市費節減を図った。 ○利用者アンケートで81.4%が清掃等施設内の美観について良いと回答した。 ○利用者や入館団体との調整して貸室の平等利用を徹底し、適切な運営を継続的に行った。
事業計画の実施状況	B	○閑散時(平日夜間・土曜日)における貸会議室の利用勧奨、情報誌・HPの活用により利用向上を図った。 ○当法人所属の有資格者による多岐にわたる問題に対応可能な暮らしと住まいの相談会を月1回実施して認知度向上と利用者拡大を図った。
施設の有効利用	S	○大阪市社会福祉協議会との連携による社会福祉事業情報を掲載した機関誌による定期的（2か月毎）な市民への情報提供を行った。
社会的責任・市の施策との整合性	B	○館内の利用状況に応じた節電への取り組みを継続的に行い、環境への配慮を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

利用者の立場に立ったサービスの提供と適切な施設管理に努めている。施設利用者へのアンケートによる、施設の利便性・満足度の調査では、満足の回答は79.1%である。満足いただけない理由は予約が取りにくいことが原因との意見であるため、利用された方の施設の利便性・満足度は確保できていると考える。なお、職員の対応満足度は90.7%と高く、リピーター率も高いことから、利用者ニーズ・満足度は一定の水準を確保していると考ええる。また、社会福祉団体以外の利用が5割弱程度あり、広く一般への周知が進んでいる結果であると言える。
--

6 外部専門家意見

・利用傾向や世の中の動きの読み、Wi-Fi環境を整備してリモート会議にも対応できる等、コロナ禍で落ちた利用率の向上策について、さまざまな手法を検討するべき。 ・築35年を経過した現在、設備機器がかなり老朽化をしていることから、稼働率を上げていくという部分においては、アンケートの結果も踏まえて中長期的な改善計画をたて、指定管理者と市が協力して進めていくこと。 ・アンケート期間を長く取り、また対象者も幅広くするなど、アンケートの取り方についての工夫をされたい。 ・いわゆる就労困難層の人たちの雇用について、市の指定管理者として、各企業体において積極的な雇用に努めて欲しい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	C	目標値の82%の達成である。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

市費の縮減	S	○物価高、政情不安等による原材料価格・エネルギーコスト等の上昇が続く中でも、光熱水費を抑制できている。 ○会議室利用率は減っているものの、近隣施設へのチラシ配布など、新規利用者の獲得を進め、利用料収入を増加を図っている。
管理運営の履行状況	A	○利用率の低い時間帯における貸会議室の利用勧奨、NPO発行の地域情報紙の活用により利用向上を図った。 ○毎月、暮らしと住まいの相談会を実施しセンターの認知度向上と利用者拡大を図った。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	